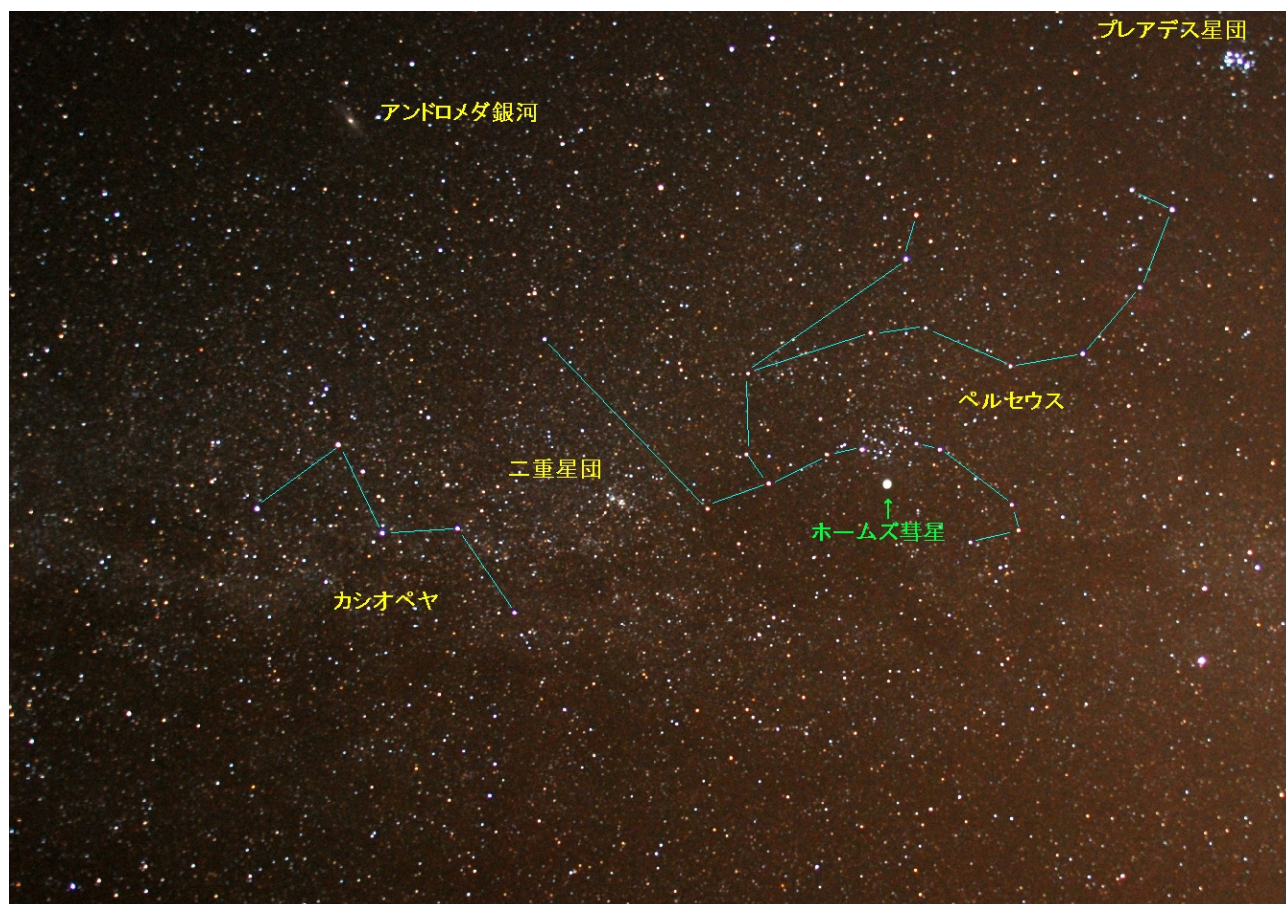


December 2007



ホームズ彗星

約 7 年の周期で太陽の周りを回っている彗星で、いつもは見る事ができないほど暗いのですが、10 月 24 日に突然アウトバースト（ガスやチリの大放出）を起こし、わずか 1 日で 14 等級も明るくなって肉眼でも見えるほどになりました。アウトバーストの詳しい原因はわかりませんが、この彗星は火星と木星の間（小惑星帯）を回っているのも、もしかすると小さな小惑星が衝突したのかもしれない。彗星はペルセウス座にありますが、ちょうど宵の北東空にありとても見やすい条件です。彗星といえば長くのびた尾が見えるものですが、ホームズ彗星は位置の関係で尾は頭の向こう側にあって、おおきな丸い頭だけが見えていました。

この号が届くころには暗くなっているかも知れませんが、動きが遅く、減光も遅いようなので 12 月中はまだ双眼鏡で見られるかも知れません。彗星のこれからの動きは情報室のページに掲載しました。写真は 11 月 9 日撮影。

綺羅星・星座図鑑

家畜の星座

家畜といえば牛や馬など農家にとってとても大切な働き手ですね。星座になっている家畜はいくつあるでしょう。答えは4つ？ 6つ?? 牡牛、牡羊、山羊、小馬はいいとして、ペガサスは馬？ 一角獣も馬？

牡牛座

牡牛座は誕生日星座としてよく知られています。冬の星座の一つでオリオン座の右上にあり、星座絵を重ねるとオリオンと戦う姿が見取れます。でも神話ではオリオンと牡牛と一緒に登場する場面はありません。

この牛は、ゼウスの変身した姿で、フェニキア王の娘エウロペを誘拐したときの白牛の姿だということです。全知全能の神が人さらいするとは・・・。



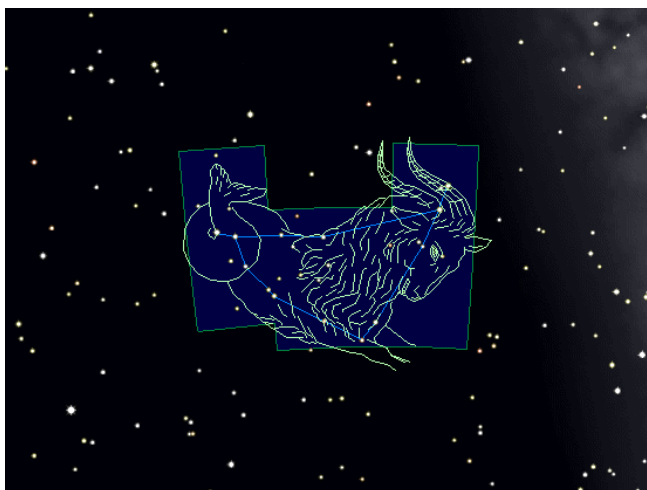
牡牛座には大きな星団が二つあります。ひとつは牛の顔の部分にV字型に並ぶヒヤデス星団です。見かけの大きさが7°もあり、望遠鏡では全体が見えず双眼鏡で視野いっぱいに見えます。1等星のアルデバランもこの中にあります。もう一つ牡牛の肩にあるプレアデス星団は日本では「すばる」としておなじみです。肉眼で6、7個の星が見えますが、双眼鏡で数10個の星が見えます。青白い星ですが、寿命は短くわずか1億年で燃え尽きてしまいます（太陽は100億年）。もう一つ牛の左の角（図では下の角）の先に「かに星雲」と呼ばれる星の残骸があります。1054年に現れた超新星の名残で、形が佐渡島のように見えます。

牡羊座

牡羊座も誕生日星座の一つで、牡牛座のひとつ手前にありますが、季節では秋の星座になります。

羊というと特に武器（角とか牙とか蹄とか）を持たず、群で行動するだけの弱い動物ですが、神話では金色に輝く毛で空を飛ぶことができる羊でした。。

いまから 2000 年ほど前には牡羊座に春分点がありました。春分点は太陽が南半球から北半球に入る赤道との交差点です。地球の自転軸（地軸）は移動していて、約 26000 年で一周するため現在の春分点は隣の魚座に移っています。牡羊座には特に目立つ星はありませんが、羊の左の角下にあるガンマ星は 4.7 等星と 4.8 等星がぴったりと並んでいて小型の望遠鏡でも見えます。



山羊座

山羊座も誕生日星座です。射手座の隣にあるので夏の星座になるはずですが、秋の星座にされています。

この山羊は「森と羊と羊飼いの神バーン」の姿とそっくりです。星座絵を見ると上半身は山羊なのに、下半身は魚の姿という奇妙な姿をしています。こんな姿になった訳は、

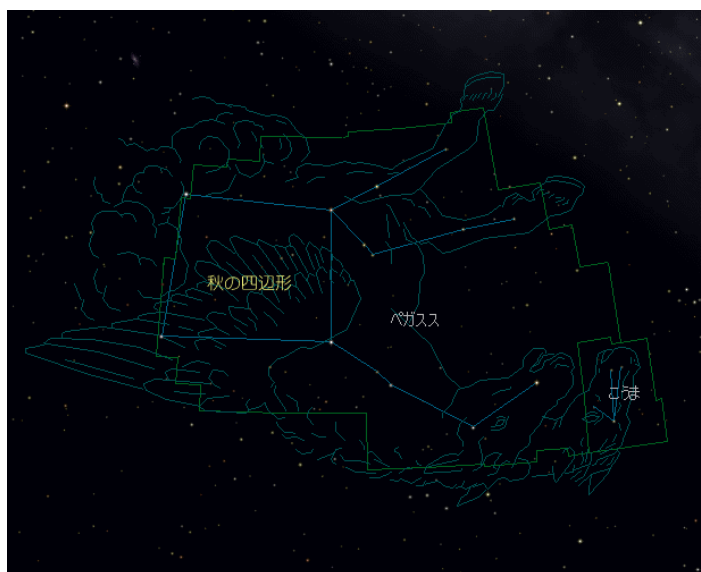
ある日神々がナイル川のほとりで宴会を催していました。そんな最中にテュフォンと

いう怪物が現れました。テュフォンは首が百もあり、下半身はヘビのようにとぐろを巻き、目や口から火を吐くという恐ろしい怪物で、神々も恐れていました。あわてた神々は思い思いに変身し散り散りになって逃げましたが、バーンは魚になって逃げようとして変身に失敗し、下半身だけが魚になってしまったのです。そのようすを天界から見ていたゼウスはその滑稽な姿に大笑いし、そのまま星座にしたということです。

山羊座は三角形をひっくり返したような形をしています。ここを「神々の門」といい、人間が死んだ後ここを通過して天国に行くのだそうです。

ペガサス座と小馬座

ペガサスは「羽の生えた空を飛べる馬」ということなので一応家畜ということで……。ペガサスはペルセウスのおかげで生まれることができました。ある時ペルセウスは怪女メドゥーサ退治に出かけました。メドゥーサは髪の毛の一本一本がヘビで、その姿を見た者はあっという間に石になってしまうといわれていました。ペルセウスはあちこちから情報を集めた上アイテムを手に入れ、準備万端整えていざ出陣。メドゥーサが寝ているスキに首を切り落としみごと



退治したのです。そのとき鮮血が近くの岩に飛び散り、その血の中からペガサスが躍り出たのです。ペルセウスはペガサスに飛び乗るとあっという間に空の彼方へと飛んでいってしまいました。

星座絵を見ると下半身が雲に隠れて見えません。これは全身を描くと大きすぎるので雲でごまかしたのだそうです。また、ペガサスは夜空で逆さまに描かれています。ペガサスの胴体は四角く並ぶ星が目立ちます。これは「秋の四辺形」といい、夏の大三角や冬の大三角と同じように秋の星座の目印になっています。この四辺形の中には 6.5 等星までの星が 30 個ほどありますが、あなたの目でいくつ見えるか試してみるといいでしょう。

ペガサス座の西に全天で 2 番目に小さな星座があります。小さな細長い三角形に見えますが、これは「こゝま座」です。こゝまは「子どもの馬」ではなく「小さな馬」です。もちろんペガサスとは関係ありません。この馬はヘルメスが馬術の名人カストルに贈った名馬ケレリスであると言われています。小馬座は面積が小さいので肉眼で見える星もわずか 10 個ほどしかありません。



一角獣座

冬の代表星座オリオンの東にある星座で、「額に一本の角のある馬のような・・・」ということなので一応馬と言うことにします。ギリシャ神話の中にはいろいろ不思議な動物が出てきますが、この一角獣も不思議な生き物のひとつです。その姿は馬に似ていて蹄は牛のように二つに割れ、額に一本の長い角があるというものです。神の国(天界)に棲んでいるらしく、地上には滅多に降りてきませんが、清純な

心を持った乙女の前だけに現れるのだそうです。

星座は冬の大三角の中にあってわかりやすいのですが、個々の星はあまり目立たなく形もつながりにくいのです。この星座には星雲や星団がたくさんあって、中でもバラ星雲やクリスマスツリー星雲、ハッブルの変光星雲、ワシ星雲などは写真でおなじみのものです。写真写りの良い星雲も肉眼には厳しくて、たいてい微か雲のように見えるだけで、写真で見るとカラフルさはありません。バラ星雲は目と口の間に位置する星雲で、大きく開いた真っ赤なバラのように見え、見かけの大きさは満月の 2 倍ほどもありますが、淡いのでとても見にくいのです。ハッブルの変光星雲は耳のあたりにある星雲で彗星のような形をしています。中心にある変光星 S 星の明るさが変わることによって、星雲の形も変わって見えるというちょっとおもしろい星雲です。

「My Stars 通信」の天文図は **StellaNavigator6 (AstroArts)** を使用しています。

綺 羅 星 列 伝

今回は三遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしゅうお願いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : **kouji-love-maiko**

この星が届いたのは、2007 年 4 月の中旬だった。

この頃、k o u j i とは一緒に住んで 2 ヶ月たったころだった。

私とk o u j i は去年の 4 月に会った。それは共通の友達から、「これからみんなで集まるけど、こないか？」と誘われ行った友達の家に彼はいた。

そのときの私は仕事も忙しく、気分転換に試してみたが結局疲れていて、口数も少なく友達にも悪いと思ったので、早めに家に帰った。

その後仕事が落ち着いていき、友達同士で集まる機会も増え、彼と会う回数も徐々に増えていった。

ゆっくり話してみると、一緒にいるのが楽しくて、私のマイペースさに合っていたし、疲れていても何も気を張らずに一緒にいれた。とても不思議だった。

彼もマイペースで、楽しいことが大好きというお祭り体質なところも一緒にいて楽しかった。こんなにも「もっと、彼がどういう人か知りたい。一緒に遊びたい」と思ったことはなかった。

2005 年の夏、私は前の彼に他に彼女がずっといたことを知った。

それ以来、恋愛に興味もなく臆病になっていた。k o u j i と会う度、一緒にいたいという気持ちが生まれ始めて、気になる人が出来た喜びとまた同じことが起こるのではないかという恐怖感を感じた。

会うたびに彼を好きになっていた。好きになっ

て傷つくのは怖かったが、彼は私の不安をかき消すかのようにやさしく包み込んでくれる。

私のことをこんなに大事に思ってくれる人はもういないと思った。私もこの人をずっと大切にしていきたいと思います。

そして 2006 年 7 月私たちは恋人同士になった

告白は彼の方からで、その日は二人で近くに星を見に行った。その車の中で彼は告白してくれた。うれしかった。とてもうれしかった。

そのとき見た星はちょっと曇って見えにくかったが、とても思い出として残っている。

一緒に住んで 2 ヶ月したある日、m y s t a r s が届いた。

何でもない日にどうして？と思ったが、彼はふとプレゼントしたくなったという。

私にとってこの星は宝物になった。

この星をプレゼントしてくれてありがとう。これからも一緒にいようね。

彼はできる限りのことはしてあげたいと私にいう。私が喜ぶこと、笑ってくれることならできることはしてあげたいと。

その純粋な気持ちが私はうれしかった。その気持ちを真正面からぶつけてくれる彼の気持ちがまたとてもうれしくてその言葉を言われた途端、涙があふれた。

彼を好きになって本当に良かった。この人を大事にしていきたいと心から思った。

ずっと永遠に……

そして私たちは 2007 年 7 月に永遠の愛を誓

う。

星の名前 : **MAKKUN・BOSHI**

平成 7 年、結婚してはじめてのクリスマスプレゼント。

今のように、インターネットもあまり普及しておらず、‘ My Star system ’ のことはテレビで知ったそうです。

プレゼントを渡してくれたときの彼の笑顔は、今でも覚えています。

5 年間の結婚生活でしたが、いつか、初山別村に行こうという約束もはたせないまま別れることになりました。

最後に彼からもらった手紙に、これから別々の人生を生きる我々とは関係なく「MAKKUN・BOSHI」は、輝き続けるんだからねという言葉。

今は、お互い別々の家庭を持っており、あれから一度も会うことのない彼だけど「MAKKUN・BOSHI」は、どこにいても、ずっと輝きつづけているのだなあと、星空を見上げるたびに思い出します。

星の名前 : **n43akemi yuuki / n43yuuki akemi**

今から、五年前、札幌出身の僕と長崎出身の彼女は福岡で出会いました。それから 1 年が過ぎた頃から僕らは付き合うことになりました。

付き合ってからすぐに僕は仕事上札幌に戻る事になり、遠距離恋愛になりました。遠距離恋愛がはじまりすぐに彼女の誕生日があり札幌に来る事になり、札幌の夜景が綺麗に見える n 4 3 で彼女の誕生日を祝いました。彼女もとても喜んでくれ n 4 3 は 2 人の思い出の場所になっています。

それから僕は福岡に戻り、今現在 n 4 3 と名前をつけネイルサロン、リラクゼーションのお店を出しました。付き合ってから 4 年色々なことがありました。そんな僕を支えてくれた彼女に彼女の誕生日にプロポーズをしようと思い彼女は星が大好

きなのでいいサプライズになると思い星を頼みました。二人のお店そして二人の名前を星につけました。そして僕らの子供が大きくなったときに愛がたくさんのなか誕生したことを教えたいです。

そして 1 0 0 0 年後に僕らが愛し合い地球に存在したことを残したい。そんなこんな物語で祈りですね。



こちら情報室

天文情報（12月～5月）

2008年は世界的にはいろいろおもしろそうな天文現象が見られますが、日本ではあまりパツとしたものがなく寂しい限りです。特に前半は本当に寂しいですね。

流星・彗星

12月15日未明に極大になるふたご座流星群

今年は17日が上弦で夜も更けるころ月は沈みます。ほぼ一晩中みられる流星群で数も多く、見やすい期間は12月10日から17日ころですから好条件で見られます。

1月4日未明にりゅう座流星群

活動期間は短く活発なのは1～2時間程度ですから、タイミングを外すとほとんどみられないという結果になります。今回は下弦過ぎの月がありますが影響は少ないでしょう。

4月23日にこと座流星群

春は流星が少なく、流星群もごく小規模なものだけで目立ちませんが、その中にあってこの流星群はちょっと目立っています。全体数はあまり多くなくこの日以外はほとんど見られませんので、ひと晩勝負でみるといいでしょう。

ホームズ彗星を見よう

表紙の写真にあるホームズ彗星は、まだしばらくは双眼鏡で見えそうです(もしかしたら12月中は肉眼で見えるかも)。彗星はわかりやすい場所にありますので、尾は見えないと思われますが見てください。

春に見られる彗星の中には過去に肉眼でも見えるほど明るくなったものも多く、ベネット彗星、ウェスト彗星、ヘール・ボップ彗星、など明るく雄大な尾を見せた彗星がたくさんあります。突然現れて明るくなるものがあるかも知れませんが、天文ニュースに注目しましょう。



日食・月食・星食

日食・月食は3回ありますが、いずれも日本からは見えません。

月が惑星を隠す惑星食は水星2回、金星1回、火星4回、海王星7回ありますが、日本から見ら

れるのは 1 回もありません。

1 等星の食はアンタレス 7 回、レグルス 6 回で合計 13 回ありますが、残念ながら日本では 1 回も見られません。

惑 星

水星：1 月 22 日と 5 月 14 日は夕方の西空で、3 月 3 日は明け方の東空で最大離隔となり見やすくなります。特に 5 月 14 日は太陽から 21 度離れて好条件で見られます。

金星：明け方の東空に 4 月はじめころまで見えていますが、6 月 9 日に太陽の向こう側で外合となり、夏休みが始まる 7 月中旬ころから夕方の空に見えてきます。外合のころは遠いので小さく丸く見えるだけです。

火星：12 月 19 日に地球に最接近します。今回の接近は 8800 万 km で 2003 年の大接近に比べると 3000 万 km も遠くあまり大きく見えません。また、日本の冬は大気が不安定なため細かい模様が見づらくなるのです。

木星：7 月 10 日に地球に接近し夏から秋にかけて見やすいですが、2008 年の前半は上ってくるのが遅く観望には適しません。2008 年はいいて座にあり南に低くいので条件はやや悪くなっていますが、木星は大きいので十分見やすいでしょう。

土星：2 月 24 日に地球に接近し夏休みまで見ることができます。2008 年もしし座にあります。環の傾きも小さくなってずいぶん細く見えます。

天王星：9 月 10 日に地球に接近しますが、遠いので小さく丸く見えるだけです。

海王星：8 月 14 日に地球に接近しますが、天王星より遠いのでふつうの星とあまり変わりません。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars 通信」は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方につきましては今後とも郵送することで考えておりますので、希望者はご一報いただきたくお願いします。

[編集後記]

2007 年 10 月末現在の登録者数は 8056 名です。

今年の夏は全国的に猛暑、大雨、台風、地震、竜巻などあらゆる自然災害に襲われた年でした。沖縄地方の度重なる台風、九州地方の長く続いた大雨、各地で連日 35 を超える記録的な酷暑日など、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。北海道も暑い日が続き猛暑日を記録したところも多々ありました。初山別はというと 30 を超えた日ってあったかな？という感じです。いつもはお盆過ぎに急に涼しくなるのですが、結構暖かい日が多く楽だなあと思っていたらやっぱり秋はやってくるもので、9 月に入ると急に気温が下がって来ました。9 月 20 日ころ早くも冬の使者「雪虫」を見ました。さらに 9 月 29 日 18 時 22 分に「みぞれ」が降ったのです。わずか 20 秒ほどでしたけれど。

11 月にドームの点検を兼ねて補修工事を行いました。隙間から雪が入って望遠鏡に積もるという状態だったので、その対策を施したのですがこの冬はどうでしょうか。

編集・発行 しょさんべつ天文台 〒078-4431 北海道苫前郡初山別村字豊岬 153-7

初山別村ホームページ URL=<http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp